

# 東京工芸大学厚木キャンパスの変遷

武藤 彩乃

指導教員 八尾 廣

建築設計計画 I 研究室

## 1. はじめに

### 1.1. 研究の背景と目的

東京工芸大学は2023年に創立100周年を迎える。設立当初の小西写真専門学校は東京都渋谷区本町に校舎が建設され、1926年には東京写真専門学校、1944年には東京写真工業専門学校に改称された。1950年には東京写真短期大学となり、中野キャンパスが設置された。厚木にキャンパスが設置されたのは、1966年に東京写真大学工学部が開設された年である。厚木キャンパスについては、当初は必要な建物を順次奥から建設する形でキャンパスの形成が進んだが、その後、西側キャンパスやグラウンドの校地拡大、女子短期大学（1982年開設2004年廃止）の設置、芸術学部の創設と中野キャンパスへの集約など、キャンパスを取り巻く環境の変化とともに、キャンパスのあり方も大きく変化してきた。しかし、大学事務局に各年代の建設関連資料や設計図書は保管されているものの、キャンパスの変遷については包括的に把握した資料はない。そこで、本研究では厚木キャンパスの変遷に関する情報を集約し、把握することを目的とする。

## 2. 調査概要

### 2.1. 研究対象と方法

研究の方法は、主として以下の通り、資料調査及びオーラルヒストリー調査である。

#### 1) 資料調査

厚木キャンパスに関する情報は、大学所蔵の建設関連資料や設計図書に含まれている。そこで、それらの配置図をスキャンし画像データ化した上で、現在の厚木キャンパスに近い2012年の配置図CADデータとの照合を行いつつトレースし、各年代のキャンパス配置図をCADデータとして作成する。各年代の配置図データを時系列に並べ比較することにより、キャンパスの変遷を把握する。

#### 2) オーラルヒストリー調査

1994年本学への着任後、キャンパス整備や校舎の設計に深く関わってこられ、キャンパスの変遷に関し最も情報をお持ちである市原出教授へ、作成した配置図データを参照しつつヒアリングを行った。その結果をオーラルヒストリーとしてまとめ、厚木キャンパスの変遷に関するより詳細な情報や背景の把握を行った。

## 3. 調査結果

### 3.1. 資料調査：厚木キャンパスの変遷

資料調査により各年代の厚木キャンパス配置図を作成及び変遷を把握し、下記の5段階に分けて考えた。

**第I期（1965～72年）：**キャンパス形成初期第1段階。1966年から72年にかけて、東側キャンパスの西ゾーンに順次校舎が建設されていく段階である。なお西側キャンパスの土地も1965年には取得されていた。東側キャンパスの東ゾーンはグラウンド、野球場として使用されていた。

**第II期（1973～79年）：**キャンパス形成初期第2段階。1973年からは東側キャンパスの東ゾーンのグラウンドであった部分を用地とし、5号館をはじめとする校舎が順次建設された。1975年には北側の現グラウンドの土地取得も行われた。校舎範囲が拡大した段階である。

**第III期（1980～93年）：**キャンパス拡充期。1980年にはグラウンド側崖の造成が行われ、校舎用地が拡大された。また、創立60周年記念として1983年に図書館が建設されるなどキャンパスが充実していく。また、長年更地であった西側キャンパスにおいても女子短大の開設（1982年）に伴い、南側から順次校舎が建設されている。

**第IV期（1994～2006年）：**キャンパス整備期。1944年には東京写真工業専門学校に改称される。また、校舎建設が一段落し、キャンパスエントランスの小広場やそこから伸びる掲示板の列など外構の整備も行われている。東側キャンパスでは1992年に校舎用地南側中央の緑地を敷地とし本館建設、図書館増築とその前庭の整備、新体育館の建設等、施設のさらなる拡充も行われている。さらに3号館とナノ科学研究センターが建設され、キャンパスとしての体裁が整っている。

**第V期（2007年～）：**キャンパスグリーン形成期。2007年に旧2号館が解体され、その跡地がランドスケープデザインにより整備され、キャンパスグリーンが明確化した。このことにより、建物配置とオープンスペースの関係、キャンパスの全体像が明確となった。

### 3.2. オーラルヒストリー調査

2021年12月16日、キャンパスの変遷について市原出教授へヒアリングを行った。その結果を以下にまとめる。

1) 1966年からは、校舎が建つ西側と、グラウンド・野球場のあった東側が明確に分かれており、1973年以降は校舎が不足したため東側に順次建設された。

2) 西側キャンパスと東側キャンパスで軸線にずれが生じている理由は、西側キャンパスを市道に合わせ真北方向、東側キャンパスを磁北方向に各々合わせたため6度のずれがある。新体育館は磁北に合わせると崖との関係が良くないため、市原出教授の設計時に真北に合わせ建設された。これは、東西キャンパスの一体化を見据えての計画でもあった。

3) グラウンドと崖の境界にある用水路より以北は市街化調整区域であったため、新体育館建設時は県に開発の申請も行い、計画から竣工まで3年かかった。この際、初めて敷地測量図が作成され、現在も利用されている。

4) CUBE（学生会館）は現存する最古の建物であり、1966年に図書館として建てられたが、1983年、創立60周年にあたり新図書館が建設された際に事務室に転用された。1994年に本館が建設され現在の場所に事務所が移ったため学生会館となり、事務所の空き家部分(2階)が学生食堂となった。

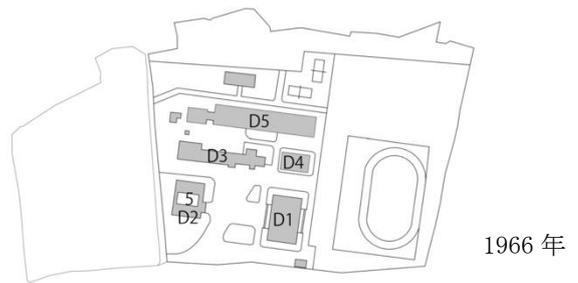
5) 今後はモールと図書館前のクオドラングルを意識し、それらを統合して、ポルティコ（柱廊）で繋がれたキャンパス空間を形成すべきであると考えている。

#### 4. まとめ

キャンパス配置図のデータ作成やヒアリングを通し、厚木キャンパスの変遷をたどった結果、本学厚木キャンパスには歴史があり、それぞれの時代の事情に対応する中で徐々にその全体像が明確化してきた過程を把握することができた。今後はさらに明確な計画的意図をもってより充実したキャンパスを整備してゆく時代であると思われる。

表1) 厚木キャンパスの変遷年表

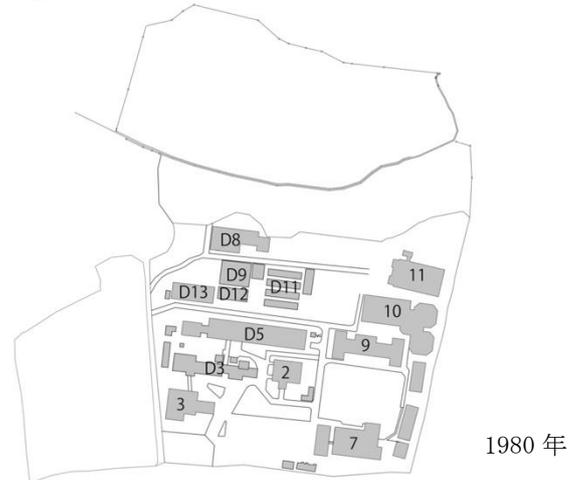
| フェーズ | 年代   | 事象                                   |
|------|------|--------------------------------------|
| I    | 1965 | 東京写真大学厚木校舎新築（第1校舎）、西側キャンパス取得         |
|      | 1967 | 第2、第3校舎新築                            |
|      | 1972 | 図書館新築                                |
| II   | 1973 | 学生会館（旧図書館）新築                         |
|      | 1974 | 第四、第5号館及び実験棟新築                       |
|      | 1975 | 大倉庫新築、グラウンド取得                        |
|      | 1976 | 建築環境工学実験棟新築                          |
|      | 1977 | 学生会館増築                               |
|      | 1978 | 第7号館新築                               |
| III  | 1979 | 第5号館増築、第8校舎新築                        |
|      | 1980 | 学生作品展示室新築、建築構造実験棟新築                  |
|      | 1981 | 東京港芸大学女子短期大学部1号館新築                   |
|      | 1984 | 創立60周年図書館新築、倉庫1新築                    |
|      | 1985 | 東京工芸大学女子短期大学部2号館新築                   |
|      | 1986 | 第8号館新築                               |
|      | 1987 | 第4号館新築                               |
|      | 1990 | 画像応用実験棟新築、第9号館新築、第13号館新築、電子情報工学実験棟新築 |
|      | 1991 | 建築材料実験棟新築                            |
|      | IV   | 1994                                 |
| 1997 |      | 第14号館新築                              |
| 1998 |      | 厚木校地8号館改修                            |
| 1999 |      | 創立60周年図書館増築                          |
| 2000 |      | 本館増築                                 |
| 2002 |      | ナノ科学研究センター新築、厚木校地9号館改修               |
| 2004 |      | 新体育館新築、第3号館新築女子短期大学部1号館昇降路増築         |
| V    | 2007 | 第12号館新築                              |



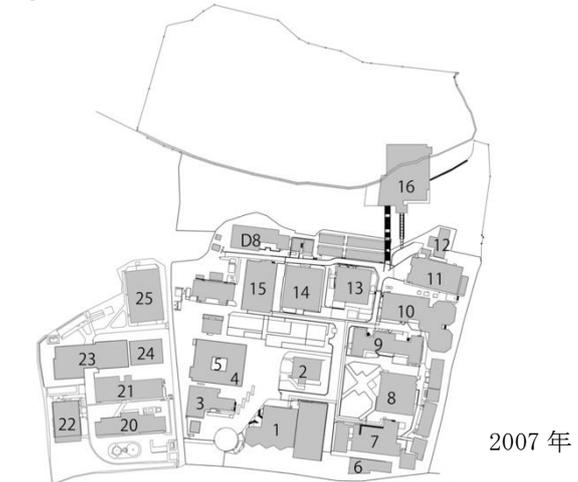
1966年



1973年



1980年



2007年

0m 100m

D1. 体育館 D2. 本部 D3. 1号館 D4. 図書館 D5. 2号館 D6. 5号館 D7. 実験棟  
D8. 作品展示室 D9. 科学実験棟 D10. 印刷実習室 D11. 学生会部室 D12. 3号館  
D13. 学生ホール 1. 本館 2. 学生会館 3. 11号館 4. 12号館 5. 中庭 6. 風工学センター  
7. 5号館 8. 図書館 9. 6号館 10. 7号館 11. 18号館 12. 14号館 13. 8号館  
14. 9号館 15. 10号館 16. 体育館 17. テニスコート 18. サッカーグラウンド  
19. 駐車場 20. 1号館 21. 2号館 22. 学生ホール 23. 3号館 24. ナノ科学研究センター  
25. 4号館  
(番号の前にDを付したものは取り壊され現存しない建物を示す)

図1) 各年代における厚木キャンパス敷地及び配置図